



事業所職員向け 児童発達支援自己評価結果表

事業所名 (特非)発達支援ネットワークつむぎ つむぎ高梁

		チェック項目	はい	どちらでもない	いいえ	工夫している点 課題や改善すべき点	改善目標、手立て
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	1	4	0	人数によってはエリアが狭く感じることがある。	現在は各訓練室ごとに活動を振り分けて過ごしています。利用者の増加に伴い、定期的に再構造化を行いながら適切なスペースの確保に努めていきます。
	2	職員の配置数は適切であるか	1	3	1		保育士・社会福祉士・言語聴覚士等の資格を有したものが支援を行なっています。個別の学びの時間を保障していることもあり、適切でないと感じられているものの、職員の体制は指定基準より多い配置となっています。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	5	0	0		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	5	0	0	毎日の清掃担当が決まっており、月に一度安全点検を行なっている。	
	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	1	4	0	保護者様のアンケートをもとに次年度の事業計画を作成し、業務改善を行っている。事業計画の作成は一部の職員で行っている為、参画している意識が薄くなっている。	各職員が主体となった取り組みになる為、広く職員が参画することが今後の課題であります。会議等の場面で参画できる機会を確保していきたいと考えています。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	4	1	0		アンケートをもとに保護者様からのご意見を受け、新たな業務改善を行なっています。

業務改善	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	3	2	0		ホームページにて公開しています。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	1	3	0		現在は第三者による外部評価は行っていません。法人内で各事業所の管理者同士が他事業所の視察を行いアドバイスを受ける機会を設けています。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	4	1	0	定期的な研修の場を設けている。	職員の学ぶ機会として、法人内の学習会を行っています。また、事業所内でも月に1回ケース会議を実施し、支援のねらいや目標の共有等を行っています。
	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	5	0	0	既存の評価ツールを使用し評価を行い、計画を作成している。	認知発達(理解)面、発達に必要な領域(理解・記憶・運動等)、他者との関わる力など多くの評価を実施しています。また相談機関より保護者様・ご本人様の思いを聞き取り、支援計画を作成しています。
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	5	0	0		
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	4	1	0		
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	4	1	0		

適切な支援の提供	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	3	2	0	特定の職員が組み立てて、共有して実施すること多い。	活動プログラムは管理者が大枠を設定しています。各職員が個々に合わせて支援の整理を行い、取り組みを実施しています。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	3	2	0		
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を敵宜組み合わせ、児童発達支援計画を作成しているか	3	2	0	個別活動と集団活動の両方の時間を必ず設けている。	個別活動・集団活動のそれぞれの必要な課題を整理し、児童発達支援計画を作成しています。
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	2	3	0	役割分担は確認できているが、支援の内容に関しては確認ができていないこともある。	昼礼の時間を設け、ご利用様への支援や保護者様とのやり取り等の情報共有を行っています。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	4	1	0	その日に振り返りの実施はできていないが、気付いた点・困った点等については管理者へ報告している。	朝夕の延長預かり・送迎等の兼ね合いもあり、支援終了後に打ち合わせは行えていません。必要な情報は管理者がとりまとめ、全体で共有しています。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	4	1	0		
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	5	0	0		
	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	4	1	0	主には管理者であるが、様々な職員が参画している。事前に会議に向けた書類作成を行っている。	会議には様々な職員が参画し、情報共有を行っています。会議に向けて職員が書類を作成し、管理者の確認を受けて実施しています。

関係機関や保護者との連携	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	5	0	0	・療育を始める前の見学には地区担当保健師が同行している。 ・会議には地区担当保健師にも参加を依頼している。	
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか					現状、ご利用はありません。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか					現状、ご利用はありません。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	5	0	0		
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	5	0	0	2月頃に次年度小学校入学を控えている方の移行支援会議を行っている。	入学等の移行の時期には移行支援会議を実施しています。保護者様をはじめとし、ご利用者様に携わる多くの関係者様と情報共有を行っています。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	1	3	1		現在は他の専門機関との連携・助言は受けていません。法人内で各事業所の管理者同士が他事業所の視察を行いアドバイスを受ける機会を設けています。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	0	3	2	現在は関わる機会がない。	地域の幼稚園・保育園・こども園に通われながら利用されているご利用者様が多く、つむぎを通して交流する機会は設けていません。地域のイベント等への参加はありますので、その際に接する場面はあります。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	3	1	1		高梁市自立支援協議会児童部会に参加しています。

	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	4	1	0	保護者様と確実に共通理解が図れているとは言い切ることができない。	ご利用時には課題内容や取り組みの様子等のご報告を行っています。共通理解を持つためには多くの時間が必要かと感じていますので、ご報告の場面や支援計画の説明時などにしっかりお話を伺い、お伝えしていきたいと考えています。
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っているか	4	1	0	開催・参加の呼びかけをしており、参加していただいている。	
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	4	1	0		
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	5	0	0		
	34	定期的に保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	3	1	1	保護者様からのご相談に応じて、事業所内相談の機会を設けています。	送迎時のお話のみでの解決が難しい場合には、個別に時間を設けてお話をさせていただく時間を作っています。
	35	父母の会の活動を支援し、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	3	2	0	開催はしているが参加者は少ない。	
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	5	0	0		

	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	5	0	0		
	38	個人情報の取扱いに十分注意しているか	3	2	0	ご利用者様の分かりやすい環境設定ということで、靴箱に顔写真のカードが貼られている。	
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	5	0	0		
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	2	1	2	地域住民が来所することは少ない。	事業所へお招きする取り組みは行っていません。地域のイベントに出店し、地域の方との交流を図る機会を設けています。
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	4	1	0	緊急時に対応したマニュアルの作成、掲示を行っています。また年に4回程度、避難訓練を実施しています。	避難訓練時にマニュアルの確認を実施している。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	4	0	1	年に4回程度、避難訓練を実施しています。	
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか	5	0	0		
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	4	1	0	保護者様に状況を確認しています。	マニュアルを作成し、食事・おやつ等の提供時には確認を行っています。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	2	3	0	ヒヤリハットは報告書を管理者に提出し、対応の検討・周知を行っている。	報告書にて原因の追究・背景の確認を行った上で対応策を検討しています。また、昼礼等で対応の周知を行っています。

46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	5	0	0		
47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	2	3	0	身体拘束を行うことがないように、必要に応じた支援を考えている。	身体拘束を行わないことをお約束しています。しかし、ご利用者様の状況に応じて切迫性・一時性として検討の必要性がある場合には保護者様へご報告・ご相談させていただくようにしています。

(特非) 発達支援ネットワークつむぎH30. 9.1～